



左から山中、上野、江尻の3県議  
(県議会の日本共産党議員室で)



# こんにちは江尻かなです

## 総務企画委員会で質問

### 日本共産党

6月県議会での日本共産党県議団の一般質問に山中たい子議員が立ち、知事と教育長に9項目を質問しました。江尻加那議員は、所属する総務企画委員会、地域公共交通の拡充や、納税者の立場にたった税の徴収について県政をただしました。

### 高齢社会を支える「コミュニティ交通

#### 水戸市と周辺市町との連携を

県内の他市町村に比べると比較的路線バスが確保されていると言われる水戸市でも、車がなければ不便を感じます。とくに、高齢者や学生の移動手段を確保する行政の取り組みはまだ不十分。

現在、茨城県では地域公共交通確保対策をすすめ、水戸市は交通対策課を新設して、バスやタクシー事業者との共同に取り組んでいます。が、連携が上手くいっているとは言えません。

江尻議員は6月議会の総務企画委員会で「水戸市と城里町、茨城町など周辺市町が連携して、行政区を超えてデマンドタクシーやコミュニティバスが行き来できるような仕組みをつくるために県の役割が大事ではないか」と質問しました。

県企画課長は「県北、鹿行、県南、県西で地域協議会

- #### 山中県議の質問項目
- ①知事の政治資金
  - ②県広域水道事業の見直し
  - ③豪雨災害対策の拡充
  - ④改定障害者総合支援法の課題
  - ⑤地域包括ケアシステムの拡充
  - ⑥特別支援学校の新設
  - ⑦給付制奨学金制度の実施
  - ⑧老朽原発の廃炉
  - ⑨広域避難計画の課題
- 詳しくは茨城県議団ホームページ参照

が設置され連携事業を議論していく。水戸市など県央地域の市町村にも参加を呼び掛けしており、今後の取り組みを考えている」と答えました。

### 租税債権管理機構

江尻議員は税の徴収について質問。本県の収納率は、住民税が92.6%、固定資産税が92.5%、国保税は68.4%であり、高すぎて払いきれない国保税の実態が収納率からも明らかです。

市町村は滞納された国保税徴収の一部を、他の税金と一体に茨城租税債権管理機構に委託しています。管理機構は茨城県が全国に先駆けてつくった市町村の事務組合。県内市町村から徴収業務が移管され、厳しい取り立てを行っています。

県税務課長は「差押えは納税者から十分話を聞いて、一

江尻議員は、仕組みづくりと同時に、市町村が運営するコミュニティ交通に対して、県の財政支援を行うよう求めました。

### 増える差押さえ・滞納処分

括納付か分納か、生活に困窮していないか、納付する誠意があるかなどを確認して行っている。生活費まで差し押さえるような地方税法違反の差押さえはしていないと考えている」と答えました。

### 県の認識とちがう徴収実態

しかし、少なくとも県民から、県の認識とは違った容赦ない差押えによって、生活や経営が壊されている実態が寄せられています。

日本共産党はこれまでも、「自殺者まで生んでいる過酷な徴収は問題であり、管理機構は廃止すべき」と主張。

#### 市町村の交通実施状況

コミュニティバスとデマンドタクシーの両方運行	8	土浦市、古河市、龍ヶ崎市、常陸太田市、つくば市、那珂市、坂東市、つくばみらい市
コミュニティバス運行(有料)	12	高萩市、北茨城市、取手市、牛久市、ひたちなか市、鹿嶋市、守谷市、稲敷市、小美玉市、大洗町、河内町、五霞町、
コミュニティバス(無料)	4	結城市、潮来市、大子町、八千代町
デマンドタクシー運行	16	日立市、石岡市、常総市、笠間市、常陸大宮市、筑西市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、行方市、鉾田市、城里町、東海村、美浦村、阿見町、利根町
運行していない	4	水戸市、下妻市、茨城町、境町

茨城租税債権管理機構の2015年度の徴収額が21億1700万円に上り、機構発足以降2番目に多くなっています。市町村からの滞納税の引き受け額が5年連続で30億円を超える中、滞納整理が完結した件数は516件で過去最多。

この他、水戸市は独自に2,000件を超える差し押さえを行っています。

江尻議員は「そもそも税金の負担が重すぎるのが問題。市町村が一人ひとりの生活実態に応じた納付相談を行うよう、徴収職員の増員や研修をすすめるべきではないか」と質問しました。

### この夏 広島へ 平和な未来をつくらう

8月4～6日に広島で開かれる原水爆禁止世界大会に、小学6年生の娘と一緒に参加します。私自身は3回目の参加。

2回目は大学時代でした。強い衝撃を受けました。大学に戻り、毎月学生寮をまわって「ヒロシマ・ナガサキからのアピール署名」を開始。1千筆を集め、翌年の世界大会に参加する後輩に託しました。

今も世界に1万5千発以上ある核兵器。「なぜ、なくせないの?」「他国に力を見せつけるため?」「子どもたちの目には、疑問だらけの世界です。」

広島・長崎で被爆し、いま茨城県で暮らす被爆者健康手帳所持者は375人。心と身体の深い傷と闘い、生き抜いてきた被爆者の方々は、「この苦しみを繰り返すな」と訴え続けてくれています。

世界では紛争やテロが絶えず、罪のない人々の命が犠牲になっています。軍事力で暴力の連鎖が止みません。平和憲法をもつ日本、唯一の被爆国である日本の役割を果たしましょう。



